

# 横越

第 19 号 平成27年 2月 1日  
(2015)  
コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会  
事務所 江南区横越出張所  
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号  
電話 385-2111



《そば打ち合コン》 日本的課題(地域)である少子化解決の一助として行われた合コン、今年は多くの成婚者で明るく、楽しい地域であることを願っている

## ひょうごかん

会長 本間 一人

新年あけましておめでとうございます。横越地域の皆様方におかれましては良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年お約束した楽しい地域づくりを実践すること、「利他」を心がけ、此の一年をコミ協活動に頑張るつもりでおります。

コミュニティ協議会では二十七年から横雲荘の指定管理者として管理運営を行うことになっております。現在の業務を引き継ぎながら、新たな展開として心配ごと相談や児童・お年寄りの一時預かり、若者支援や地域のお茶の間の充実など、日常生活

の開催、そして地域と学校の架け橋としての交流イベント等を精力的に企画・運営、実施され、地域の活性化と発展に多大なるご尽力をいただいておりますことに、敬意を表するとともに心より感謝とお礼を申し上げます。

## 新年のご挨拶

江南区長 大沢 藤雄

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

横越コミュニティ協議会の皆さまには、住民バス「横バス」の設立をはじめとする生活環境の整備・改善など「安心安全なまちづくり」や、多種多様な活動によって地域住民の皆さまが交流することを通じ、「ふれあいのまち よこごし」づくりを進めていただきまして、誠にありがとうございます。

特に昨年は、小林存先生歌碑建立事業の共催や、小阿賀野川を舞台にした「嫁入り舟」プロジェクトの実施など、歴史の重みを感じさせる文化活動に加え、「横越世代交流会」

活に於ける問題を地域住民の皆様と共に解決すべく行動していきます。中央環状道路について少し申し上げますが、小杉の大阿賀橋から曙町、四十九号線に繋ぐ工事が進行中ですが、その延長線、二本木の信越線を跨ぎ四〇三号線に、そして八号線まで伸びていきます。

注目すべきは(仮称)江南駅と周辺開発です。

新潟市が国の農業特区の指定を受け、構想が練られ進行中です。必ずや実現するものと思っております。

人口減少が心配されるなかで江南区は流入人口のおかげでその心配はないと思っておりますが、旧集落は減少してしまいますので、若者支援を行い、幸せな家庭が築かれるように全力で取り組むことをお誓いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今後、区民の皆さまとの協働により一丸となって、江南区が目指す「緑と調和した賑わいと安らぎのあるまち」、そして「みんなで支え合い、安心して暮らせるまち」の実現に向けてスピード感を持って進めて参りたいと考えておりますので、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、横越コミュニティ協議会の益々のご発展と、今年が災害の無い平穏で明るい年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 人口急減社会と「三協」の取り組み

副会長 佐藤 正明

今後、人口減少、少子化、超高齢社会を迎える。本県では、今後二十五年間で十八市町村において子どもを産む二十〜三十九歳の若い女性が半分以下になり、自治体が消滅する可能性があると試算が出ている。

県下、三十市町村のうち、我が新潟市は二十八番目の減少率で一六万四千人の減少、六万人の高齢者人口の増、年少人口四万人の減少が予測されている。幸いにして、江南区においては一人減にとどまり、減少率においては最少であります。合併前の横越地区においては、県下一の人口伸び率を達成して村から町へ移行したのであります。

住民の誰もが自分の住む街が縮小することは望んでおらず、人口が増え、街が栄えていく事を期待するものです。

横越コミ協では、婚活事業を計画し、昨年十月に「水郷の花嫁さんは舟で行く」として、花婿、花嫁さんが小阿賀野川の豊かな自然の中を舟で、完工した木津の渡し場広場の舟着き場で多数の歓迎の祝いをうけました。

十二月には、約四十五人の参加で「そばねって、一生そばに、寄り添って」と題して婚活パーティーを開催いたしました。マッチング成立は四組であり、今後の進み具合に期待するものであります。

今年の六月には、二回目の「花嫁さんは舟で行く」を実施する予定であり、何組かのカップルが乗船される事を祈ります。さらに、休耕地を活用した「そば」づくりの計画を考えております。参加者で、そばの種を蒔き、秋には収穫し、そしてそばねってマッチング 知恵を出し合っ

て計画したいものであります。皆様のご意見等を頂ければ幸いです。住民が一体となり議論し、知恵を絞る必要があります。未来は変えられる。未来を選ぶのは、私達であります。



渡し場広場に着いた「嫁入り舟」

## 「水郷の花嫁さんは舟で行く」

一写真コンテスト 入賞者が決定しました一



小阿賀花嫁大賞受賞作品 「水郷の嫁入り」

昨年の10月13日（祝）に開催された「水郷の花嫁さんは舟で行く」における写真コンテストの入賞作品が決定し、11月14日に横越出張所で表彰式を行いました。

全応募作品数 104点中、以下の26点が入賞となりました。

- ・小阿賀花嫁大賞  
小山 覚さん（西区）「水郷の嫁入り」
- ・優秀賞  
小林 敏行さん（西区）「幸せになるんだよ」
- ・優秀賞  
池田 友好さん（西区）「お疲れさま」
- ・フジカラー賞  
今井 富雄さん（江南区）「幸せいっぱい」
- ・北方文化博物館賞 5点
- ・入選 17点

## 平成二十六年十一月より

### 横バスの阿賀野ルート新設と土曜日運行開始

横バス協議会 会長 田村 唯次

新年あけましておめでとうございませう。新年あけましておめでとうございませう。新年あけましておめでとうございませう。

おかげさまで地域住民バス「横バス」（以下横バス）は発足五年目になりました。

横バスの運行にあたりまして、住民の皆様には多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この横バスは平成二十二年十一月から地域の自治会等から要望・意見を聞きながらバス停の設置や運行ルート、運行時間を考え、住民ニーズに合わせた運行に取り組んでおります。年々利用

者が増加し、地域にとって必要不可欠な公共交通手段となりつつあります。昨年十一月より新潟市運行社会実

験として阿賀野ルートの新設と土曜日運行を実施しております。より多くの地域住民の皆様が横バスをご利用いただけることを期待しております。今後も地域住民の交通の利便性を図るためより一層努力してまいります。つきましては、当協議会では、今後より良いバスの運行を目指して頑張っておりますので今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。



# 農民文芸と地域活動について

運営委員 宇野 勝幸

木津地区は、もともと農業が盛んなところで農民達はその余暇を見つけて俳句や短歌を学び創作活動に励んできました。

木津地区に残るこれら先人達の俳句、短歌、絵画等を調査、発掘し将来にわたり地域の宝物として記憶に止めておこうと、地元の俳句グループ「小阿賀吟社」会員を中心に「木津農民文芸研究会」を立ち上げ、活動を行っています。

今回で三回目となる同研究会主催の農民文芸活動について語り合うシンポジウムが十一月三十日に行われました。

当日は、俳人宅前に設置された句柱を訪ね歩き、地元の俳句グループ「小阿賀吟社」会員による掲句解説、越佐文人研究会の岡村鉄琴代表による基調講演「新潟島におけるゆかりの文人たち」の後、同代表を講師に周辺地域との俳句 短歌活動の連携や交流の実態をテーマに、小阿賀吟社会員による座談会が行われました。

現在、同地区には小阿賀吟社同人の句碑を含め十基が建立されており、さらには同研究会により新たに二十ヶ所の句柱を設置し、これら先人の足跡をたどり、後世に、その俳人、歌人の活動を明らかにし、地域の誇りとするものです。



句柱を訪ねて



座談会

## 教育文化部会活動報告

教育文化部長 坪谷 さゆり

地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。

いつも教育文化部会の活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。予定していた内容とは変わりましたが、多くの方から参加していただくことができました。

十一月二十七日、横越中学校で三味線プレイヤー史佳さんの講演・演奏会が行われました。地域の皆様にも、生徒たちと素晴らし空間を共有してもらいたいと思い協力させてもらいました。想像をはるかに超える人が来てくださり、中学校さんも嬉しい誤算となり、あわてて椅子を追加する状況だったそうです。

日常生活の中で、和楽器の音を聴くことはあまりないと思うのですが、史佳さんの演奏が始まると会場の人々がどんどん引き込まれていく様子を感じました。後半は質問コーナーもあり、あつという間に時間が過ぎていきました。ステキな演奏とあたたかいお話、ありがとうございました。

がらりと変わって「よこしコミ協みんなして行こうば寄席」が十一月三十日のよく晴れた日に行われました。口演してくださった三流亭楽々さんは、元県警の警部さんで、社会人落語の大会で優勝した方です。今回はなかなか被害の減らない「詐欺」について、お

もしろい噺を交えて口演していただきました。なんと最後には、南京玉すだれの熱演もあり、大爆笑で無事終了となりました。

平成二十七年、未だし、生(なま)のメー(名)演奏を聴き、怪しい電話がかかってきたら「息子と名乗るオメーさん 自分の名前言ってみな」と言って確認しましょうね。



三味線プレイヤー史佳さん(左)とパーカッションの松井リカさん(右)



南京玉すだれ

コミュニティ協議会の事業は新潟市の補助金を受けて実施しています。



## 江南区社会福祉協議会について

江南区社会福祉協議会

事務局長 吉田 啓一

社会福祉協議会は社会福祉法に基づき設置されている地域福祉の推進を目的とした民間の福祉団体で、民間組織の自主性と、広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という二面性をもった団体です。

市民の皆様からの会員会費や共同募金の配分金、寄付金、行政の補助金などを財源に、地域の特色や魅力を活かした福祉のまちづくりを推進するため、各種の福祉事業に取り組んでいます。

会員会費につきましては、一世帯当たり四〇〇円をめぐにお願ひし、すべて社会福祉協議会が進める地域福祉のための事業・活動やボランティア活動の費用に充てられます。

これら会員会費や共同募金配分金などによる主な事業は、◇いきいきサロン、地域の茶の間、子育てサロン、自治会館や公民館などに集まり、健康増進、情報交換など地域の皆さんの交流の場として楽しまれています。◇地域ふれあい事業Ⅱ自治・町内会での夏祭りや防災訓練、清掃活動など子どもからお年寄りまで多世代が参加する行事に助成しています。◇友愛訪問Ⅱボランティア団体や民生児童委員の皆様のご協力を得て、おおむね七十歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみ世帯の方々に、月一回、見守りを兼ねて乳酸菌飲料を配布しています。◇おせち料理の

配布Ⅱ年末に地域のボランティア、民生児童委員の協力により、七十五歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみ世帯の方々にお届けしています。◇安心袋・緊急情報キット配布事業Ⅱ七十

歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみ世帯などの方々に、緊急時の連絡カードと日常生活用具をセットにしてリュック式のアんしんバッグと緊急情報キットを配布します。◇福祉サービス・リボンの会Ⅱ助けられたり、助けたり

の地域の支え合いの心を形にした、住民相互の会員制で支えるサービスです。以上の事業のほか、ボランティアセンターの運営や心配ごと相談所の開設などを行っています。また災害時においては、ボランティアと、ボランティアを必要とする人たちをつなぐ役割を担うため、災害ボランティアセンターを立ち上げますが、これらの運営費にも

も充てられます。以上のことにご理解いただき、今後も会員会費や共同募金にご協力をお願いいたします。さて、江南区社会福祉協議会はこれまで老人福祉センター「横雲荘」に事務所を置き活動してきましたが、今年春から、区役所隣の「江南区福祉センター」に移転することとなっています。

現在の健康センターの設備も併せて活用することで、健康づくり機能、子育て支援機能、障がい者支援機能などを併せ持った施設となることと、皆様方もぜひご活用ください。また江南区社会福祉協議会もこれまで同様、お気軽にご利用いただきたいと思います。

## 横雲荘の指定管理者認定

その活用について

会長 本間 一人

横越コミュニティ協議会は、江南区社会福祉協議会の移転（平成二十七年四月、江南区役所隣りへ移転）に伴い、横雲荘を指定管理者として運用することになりました。

現在の内容を引き継いで参りますが、それに加えて児童の居場所作りや高齢者の一時預かり、地域の茶の間の充実、若者支援、心配事相談所など、地域住民への日常的な支援について、皆様のご協力をいただきながら、一歩一歩ゆつくりであっても確実に推進してまいりたいと思います。そのためには皆様へに支援員、ボランティアといった形でのご協力をお願いしなければなりません。地域の皆様と協働して安心、安全な地域を目指してまいります。いまま少具体化してまいりましたら活動内容、ボランティア、支援員の募集などを行います。

皆様のお力をお貸しください。よろしくお願ひ申し上げます。



大広間



大浴場

## 健康福祉部会について

健康福祉部会長 中村 実

新年明けましておめでとうござい

す。日頃皆様方からは横越コミュニティ協議会の活動にご理解とご協力を頂いておりますことに感謝いたします。

さて、昨年は初事業といたしまして「おはよう朝ごはん料理講習会」を計画いたしました。残念ながらいろいろな行事とバッティング致し参加者が無く、やむなく中止とさせて頂いていただきました。

今年はずいぶん実施したいと思い、再度計画を練っておりますので、ご案内の節はよろしくお願ひいたします。今後、明るく豊かな環境のまちづくりに努めていきたいと思ひます。



新年を迎えた横雲荘